

東福寺とエコ

No.

久我の杜小学校・辻 夏向

① おふろはサウナ

室町時代のお寺には百人ほどのおぼうさんがいたのでお湯をわかすと水もまきも大量に必要だった。

それで東山六山峰の山々かはげ山になる可能性があったので、水かまきをあまり使わないサウナにした。



浴室
(重要文化財)

② はいせつ物で現金収入
当時のはいせつ物は貴重
なたいひ肥料だったので
農民によく売れた。



とうす
東司
(トイレ)
(重要文化財)

内部



全景

③ 自給自足

お寺で飲んだり食べたりするお茶や野菜などは、お寺の中で育てていた。

[まとめ]

お寺にはすごくたくさんのお寺があることにおどろいた。

エコについて調べてみると「エコロジー」と「エコノミー」があることがわかった。「エコロジー」とは環境に、「エコノミー」とは、経済的にエコだということだ。そこでぼくは上に書いたことがどちらに当てはまるかを考えてみた。

①と②は、両方に当てはま
ると思った。③はエコノミー
だと思った。

「お寺には空調がないけ
れど寒いと思わなければ寒
くない」というおしょうさん
の言葉が印象的だった。
これもエコだと思った。